

第30回糸東会関東大会 競技規定・申し合わせ事項

(公財) 全日本空手道連盟空手競技規定並びに第30回糸東会関東選手権大会
申し合わせ事項にて行なう

糸東会競技規定

- *選手は自分の赤帯・青帯を使用すること（赤紐・青紐は認めない）
- *審判員は必要以上に、選手と会話をしない様に心掛ける
- *各都県、監督1名・コーチ3名とする（IDが見える様に首にさげる）
（監督・コーチの服装は空手着とし、基本選手と同じ基準とする）

形競技

- ① 演武形 糸東会で制定された平安形・指定形・得意形のみ
別紙の通り（第30回糸東会関東大会 指定形・得意形）
- ② 競技方法 予選から決勝ラウンドまで全てフラッグ方式
予選から準決勝及び3位決定戦は、2名同時演武とする
決勝戦は各種目共、1名ずつ演武とする

- ※選手の試合時におけるマスク着用は、選手の任意とする
- ※入場は斜め入場で、演武終了後コート後ろに下がり判定を受ける。
- ※小学2年生以下は、コート内での礼を忘れても指導に留め、違反とはしない
- ※審判員5名はコート前側に横1列に着座
- ※主審は笛の合図で演武開始、『判定』の発生と笛の合図、勝者のコールを行う

組手競技

- ① 競技時間 小学生1分間のフルタイム
中学生以上1分30秒のフルタイム
- ② 勝 敗 小学生以下6ポイント差、又は終了時に得点の多い方
中学生以上8ポイント差、又は時間終了時に得点の多い方

③ 競技方法

個人戦トーナメント方式とする

3位決定戦は行う

各県対抗団体戦に於いては、勝敗が決まっても先鋒から大将戦まで行う

④ 成年の部/35歳以上の部

体重は無差別級とする 各種目参加人数の制限は無し

※成年女子（少年女子でも参加可）

⑤ 安全具

- ・ニューメンホー全員着用（バージョン6以上）マウスシールドは任意
- ・拳サポーター全員着用（親指の有る物を使用の事）

小学生	赤・青のリバーシブルの拳サポーター もしくは赤・青の拳サポーター
中学生	全空連検定品の赤・青の拳サポーター
少年男女	高体連指定・全空連検定品の赤・青の拳サポーター
成年/35歳以上（男女）	全空連検定品の赤・青の拳サポーター
- ・胴プロテクター 原則全員着用（空手衣の中に着用）とする。
- ・セーフティーカップ 男子全員（小学2年生以下は監督判断により任意）
- ・インステップ、シンガード 全選手必着（高体連指定・全空連検定品・WKF指定品のもので、赤・青もしくは白のもの。赤色・青色については識別コーナーにあわせて装着のこと。

※12歳未満の組手競技規定の取扱い

- ・上段部位へのコンタクトは、軽微であっても原則的に罰則が科せられる
- ・中段への技がコントロールされたものであっても、表面以上にコンタクトが、有った場合は得点にはならない
- ・足払い又はその他のテイクダウン（引き落とし、投げも含む）の技は禁止

※令和4年度のルールにて行う

- ・少年男女のジュニアルールは旧ルール（昨年同様）を適用する
上段への突き技による攻撃のスキントッチはC1とする
- ・不活動はポイントで負けている、又は同点の場合「先取」で負けている選手にのみ与える（ノースコア又は同点で先取が無い場合は両者に与える）
- ・主審の「分かれて」の発生直後に技を出した選手にはC2を与える
（試合終了15秒未満での行為は逃避ではないので「先取」の取り消しにはならない）